

次期計画について

本日の論点

①これまでの取り組みの成果と課題

②今後のごみ減量施策



はじめに

響一般廃棄物処理基本計画とは

1

響ごみ量・資源量・経費の推移

2

響人口の推移

3

響ごみ量に関する 2 3 区における状況

7

現行計画の振り返り

響現行計画の目標値と達成状況

8

響目標達成の要因

①古着回収事業 11

②資源プラスチック回収事業 12

③民間事業者を活用したリユース事業 14

④廃食用油の S A F リサイクル 15

⑤食品ロスの削減 16

⑥広報・普及啓発 18

⑦事業者に対する取り組み 20

⑧社会的動向による減量要因 21

次期計画について

響本計画の目標値

一般廃棄物処理基本計画とは

位置付け

響区域内的の一般廃棄物（家庭ごみや事業所から出るごみ）の減量や適正な処理を行うために策定する計画です。

響廃棄物処理法では、区市町村が一般廃棄物処理計画を定めることを義務付けています。

響国の「第六次環境基本計画」、「第五次循環型社会形成推進基本計画」、「廃棄物処理法」

を中心とした各種法規制、東京都の「東京都資源循環・廃棄物処理計画」、「東京都清掃一部事務組合の一般廃棄物処理基本計画」等との整合を図ります。

響「大田区基本計画」等の区の上位計画の施策を実現し、「大田区環境基本計画」等、他の計画との整合を図ります。

響10年後のごみ減量の目標値を設定し、ごみ減量や適正なごみの処理を実現するための施策を

記載します。

計画期間

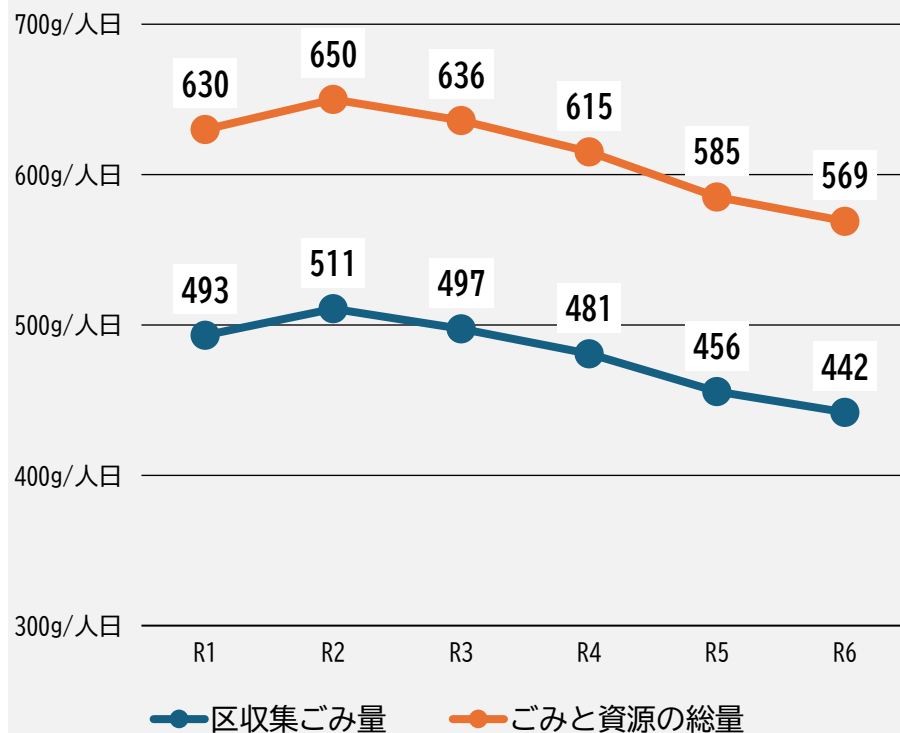
響計画期間は、令和8年度から令和17年度までの10年間とし、中間年度の令和12年度に中間見直しを行います。



ごみ量・資源量・経費の推移

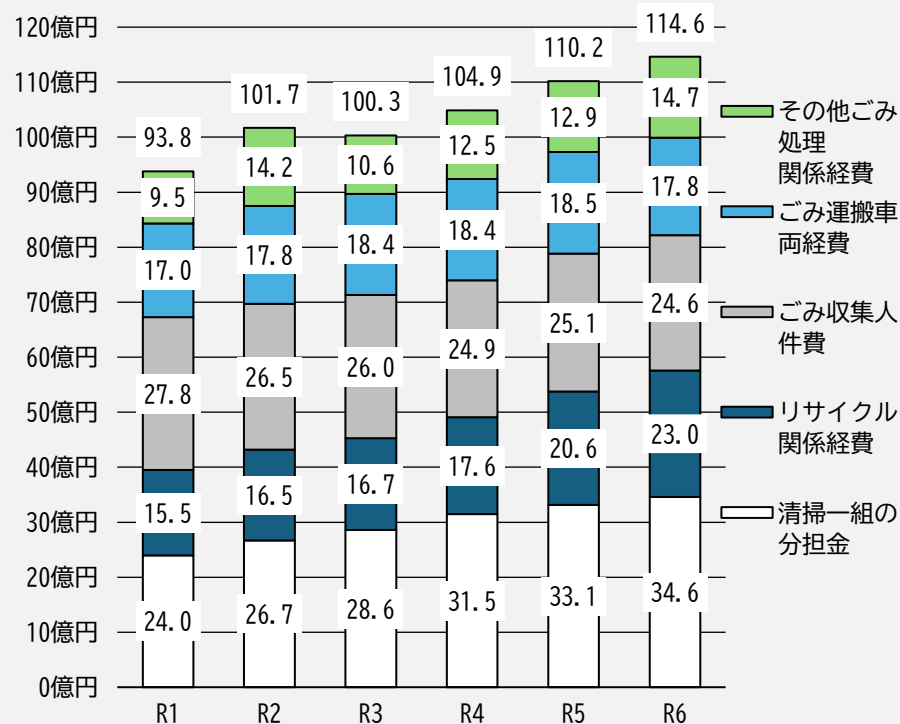
ごみ・資源量の推移

饗区民1人1日当たりの「区収集ごみ量」と「区収集ごみ量と資源の総量」は令和2年度以降、**着実に減少**しています。



経費の推移

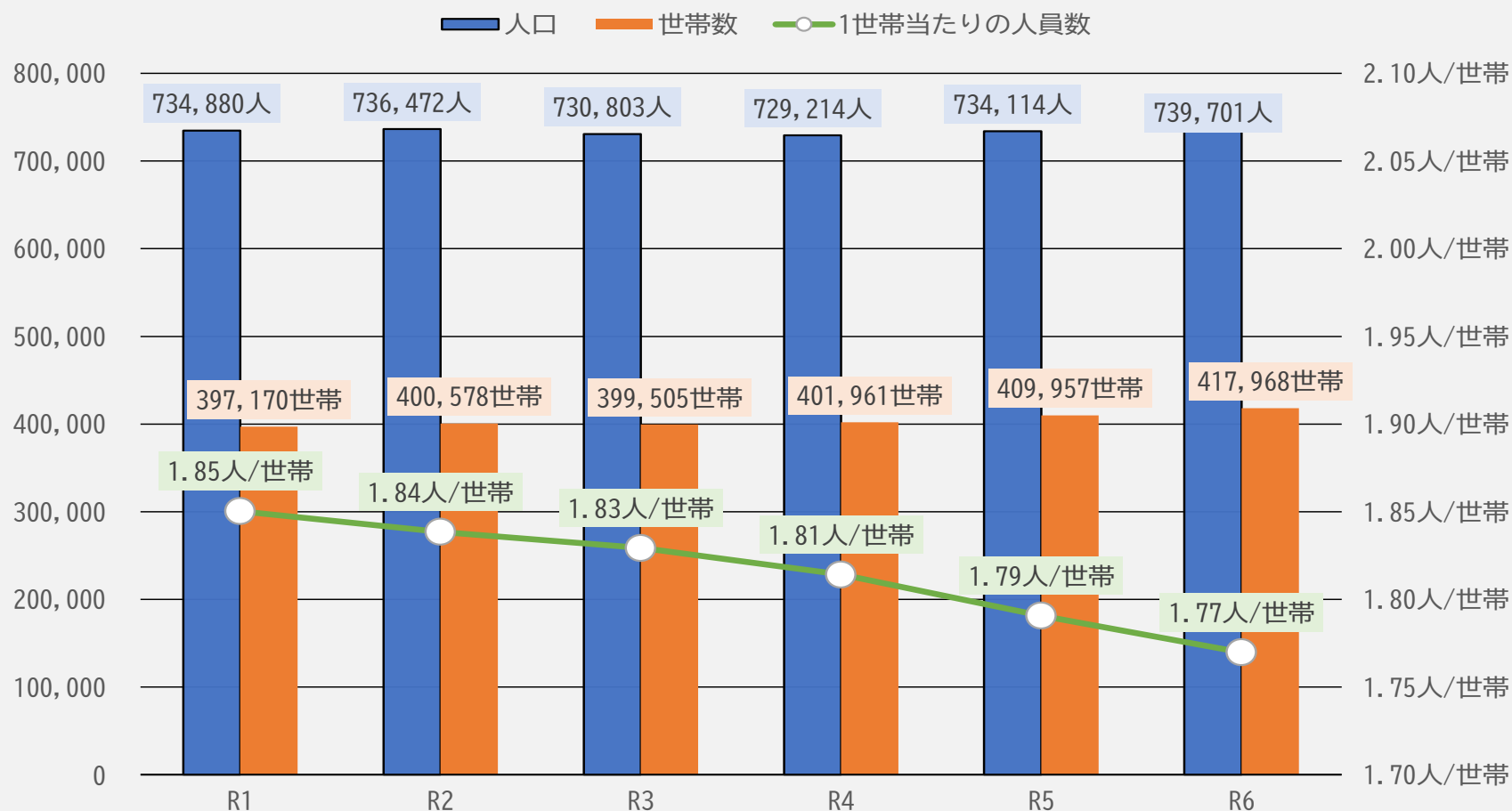
饗区収集ごみ量の減量にかかわらず、経費は増加傾向にあります。



出典：環境清掃部事業概要および令和6年度決算額

人口の推移

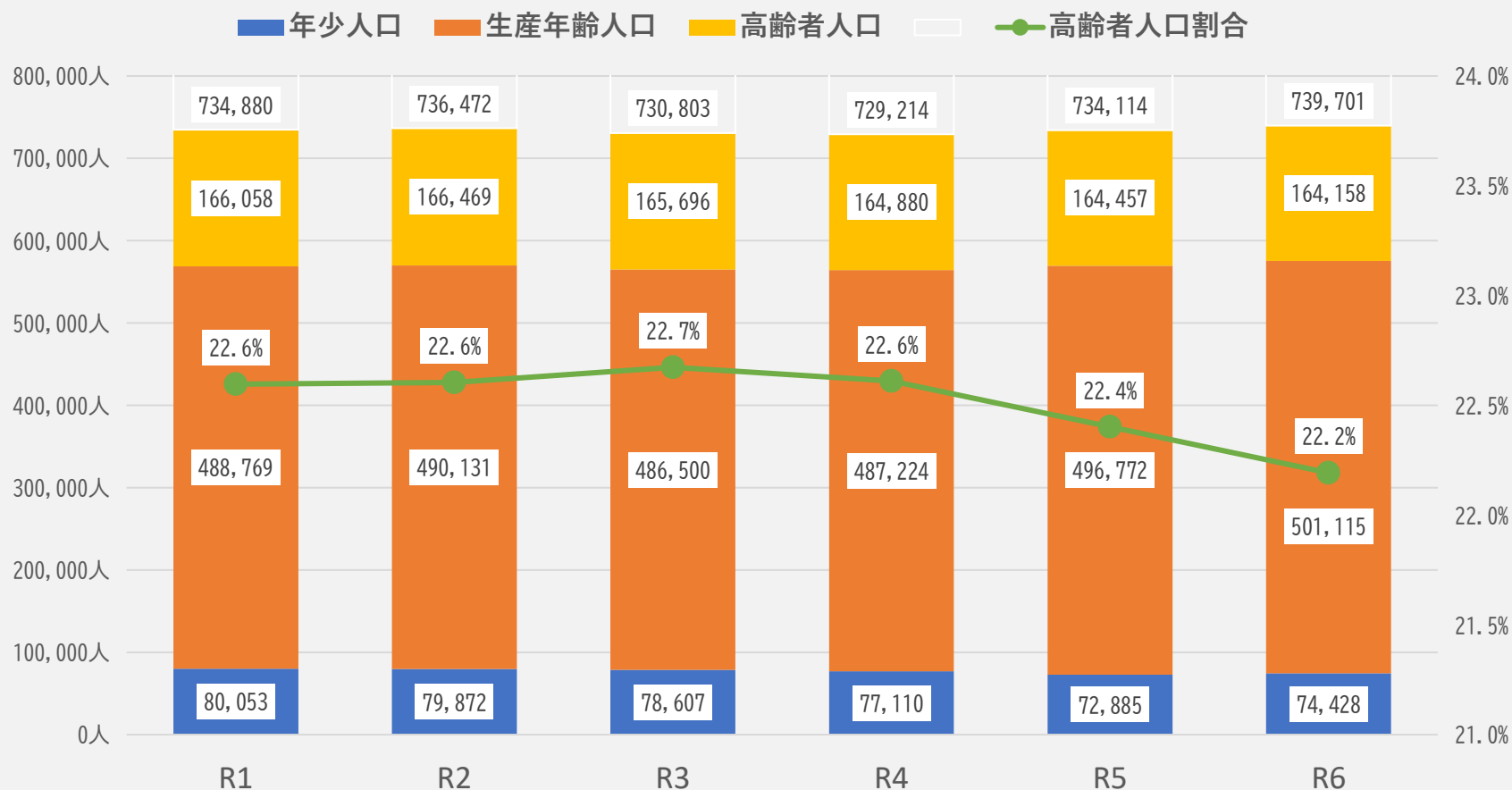
人口・世帯数の推移



(各年10月1日現在 外国人含む) (出典)住民基本台帳

人口の推移

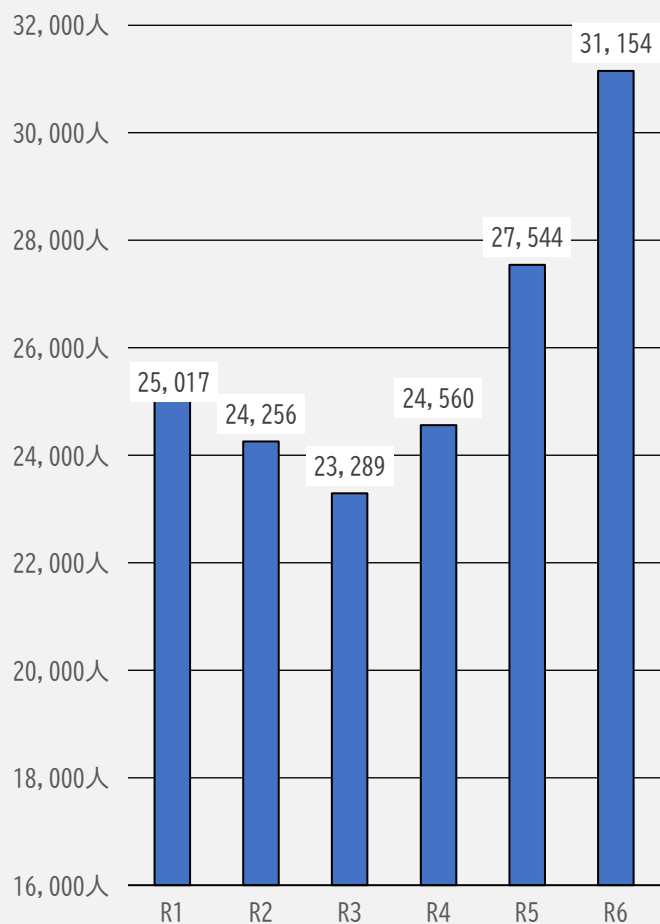
3 区分別人口と高齢者人口割合の推移



(出典)住民基本台帳 (各年10月1日現在 外国人含む)

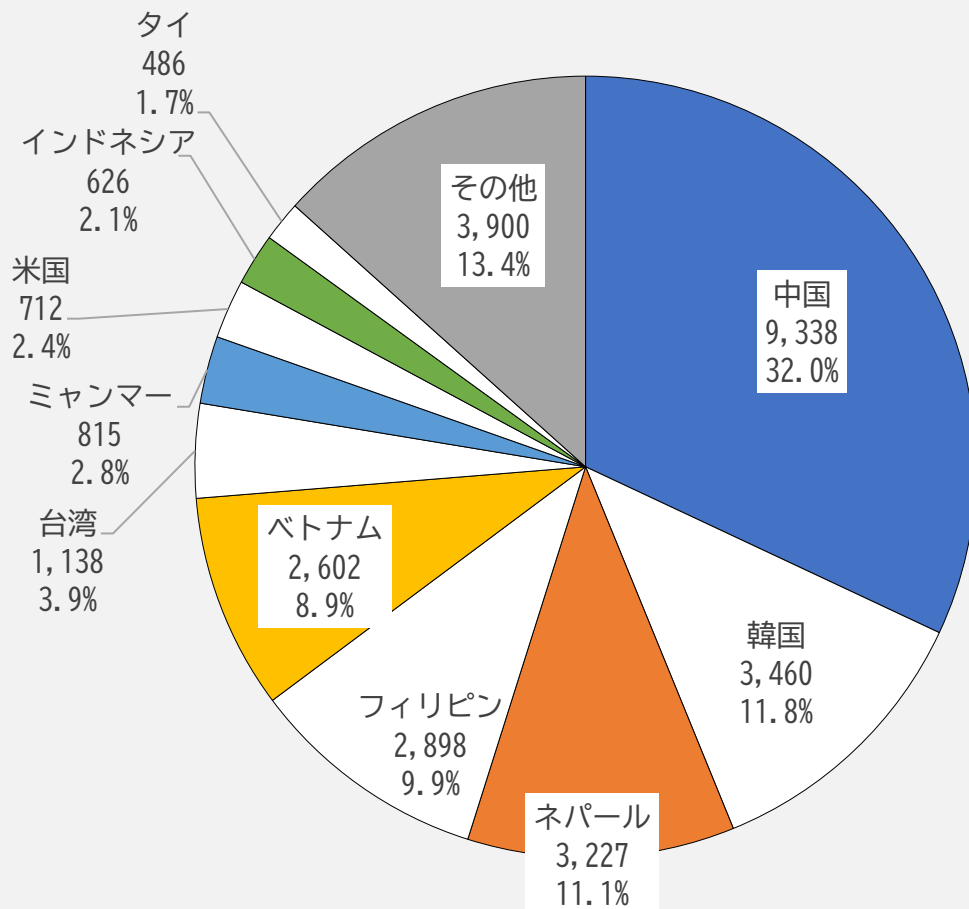
人口の推移

外国人人口の推移



(出典)住民基本台帳 (各年10月1日現在)

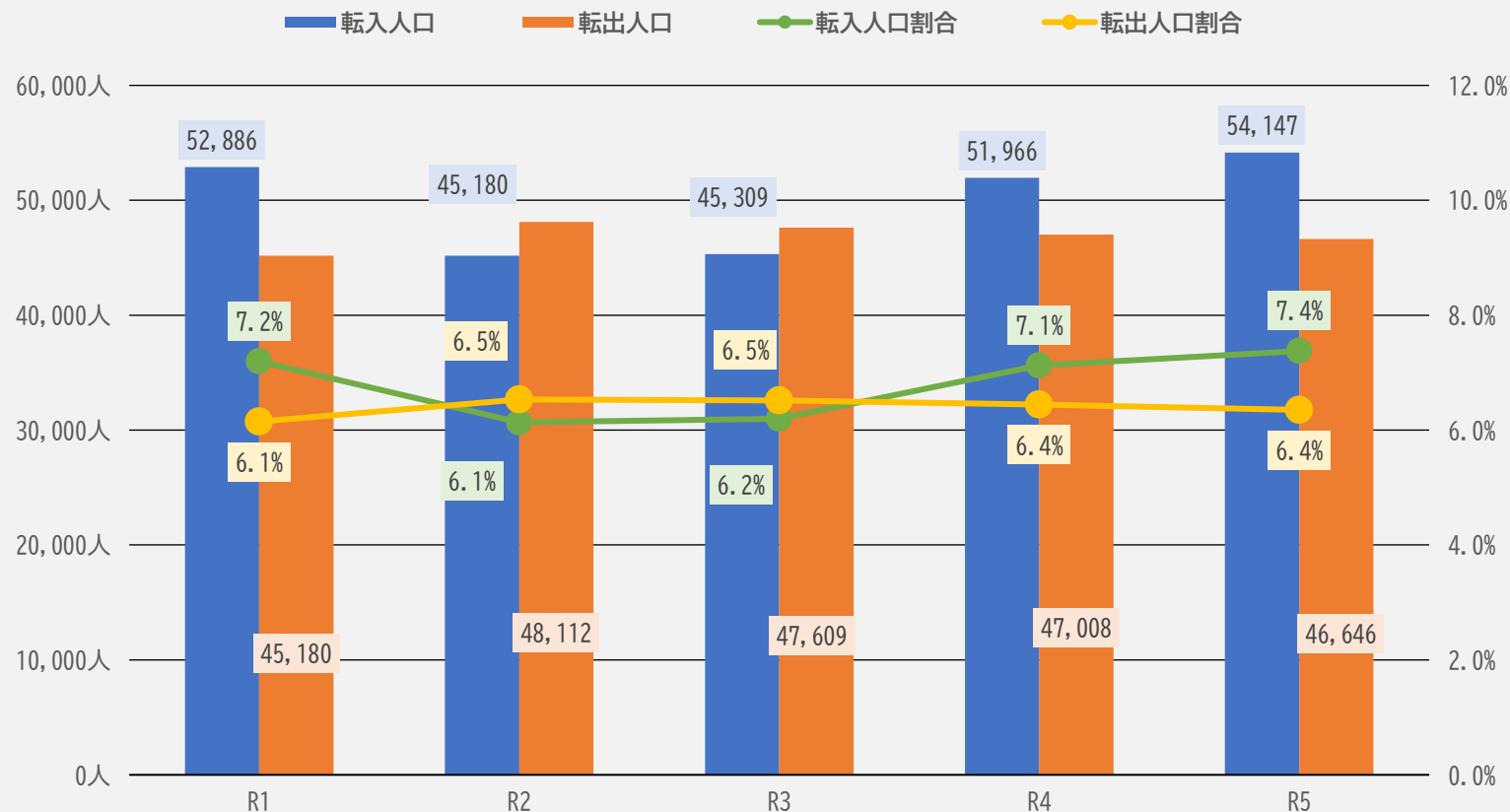
国籍別割合



(出典)大田区区政ファイル (令和6年4月1日現在)

人口の推移

転入・転出人口の推移



(出典)大田区政ファイル (令和6年度版) (各年4月1日現在)

ごみ量に関する23区の状況

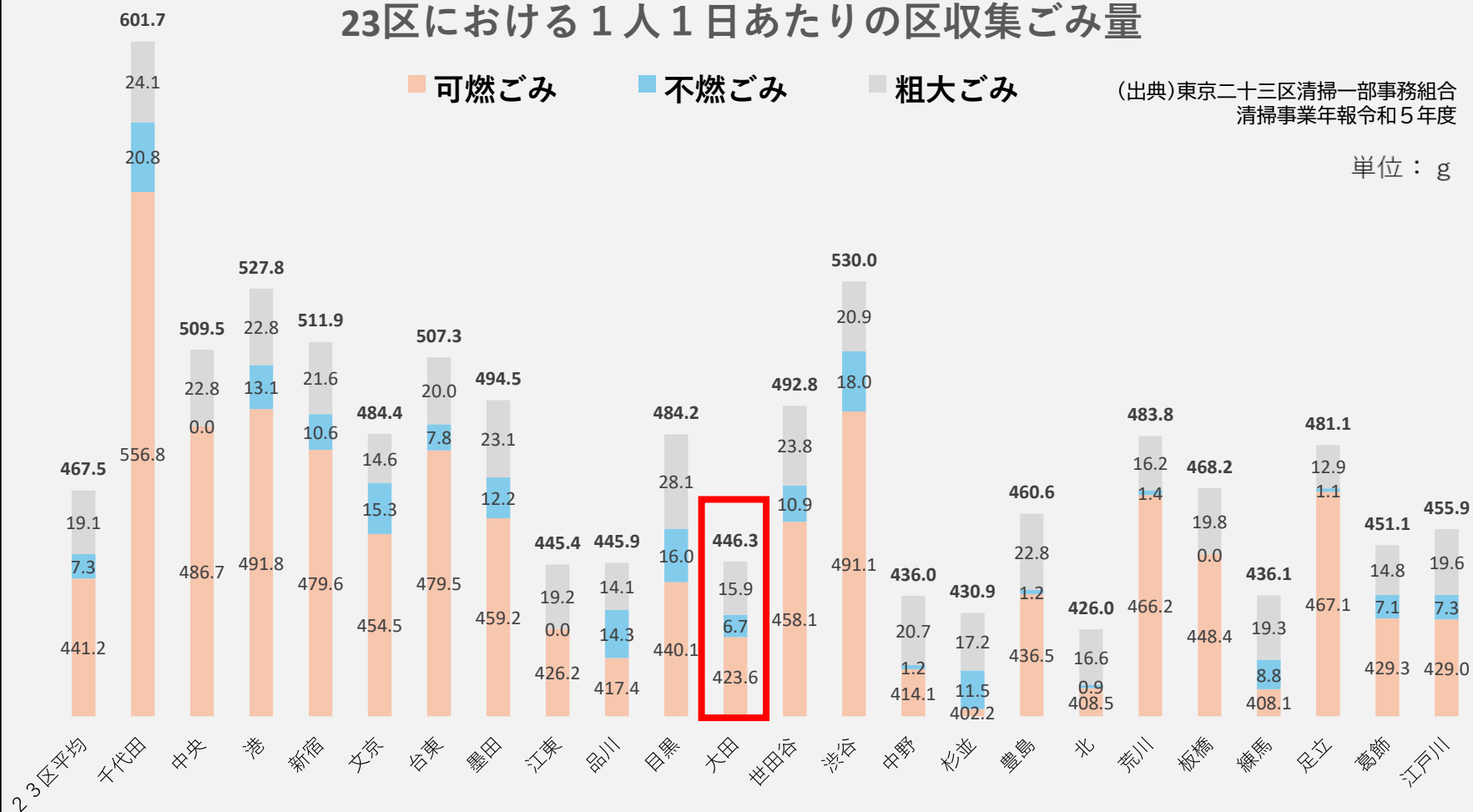
区収集ごみ量

23区における1人1日あたりの区収集ごみ量

可燃ごみ 不燃ごみ 粗大ごみ

(出典)東京二十三区清掃一部事務組合
清掃事業年報令和5年度

単位：g



現行計画の目標値と達成状況

計画指標1 区民1人1日当たりのごみと資源の総量

区が関与する区収集ごみと資源の総量を人口で除した指標

区民1人1日当たりのごみと資源の総量＝

$(W + R1 + R2 + R3) \div \text{人口（各年度10月1日）} \div \text{年間日数}$

W : 区収集ごみ量

R1 : 行政回収資源量

R2 : 集団回収資源量

R3 : 拠点回収・ピックアップ回収量

計画指標2 区民1人1日当たりの区収集ごみ量

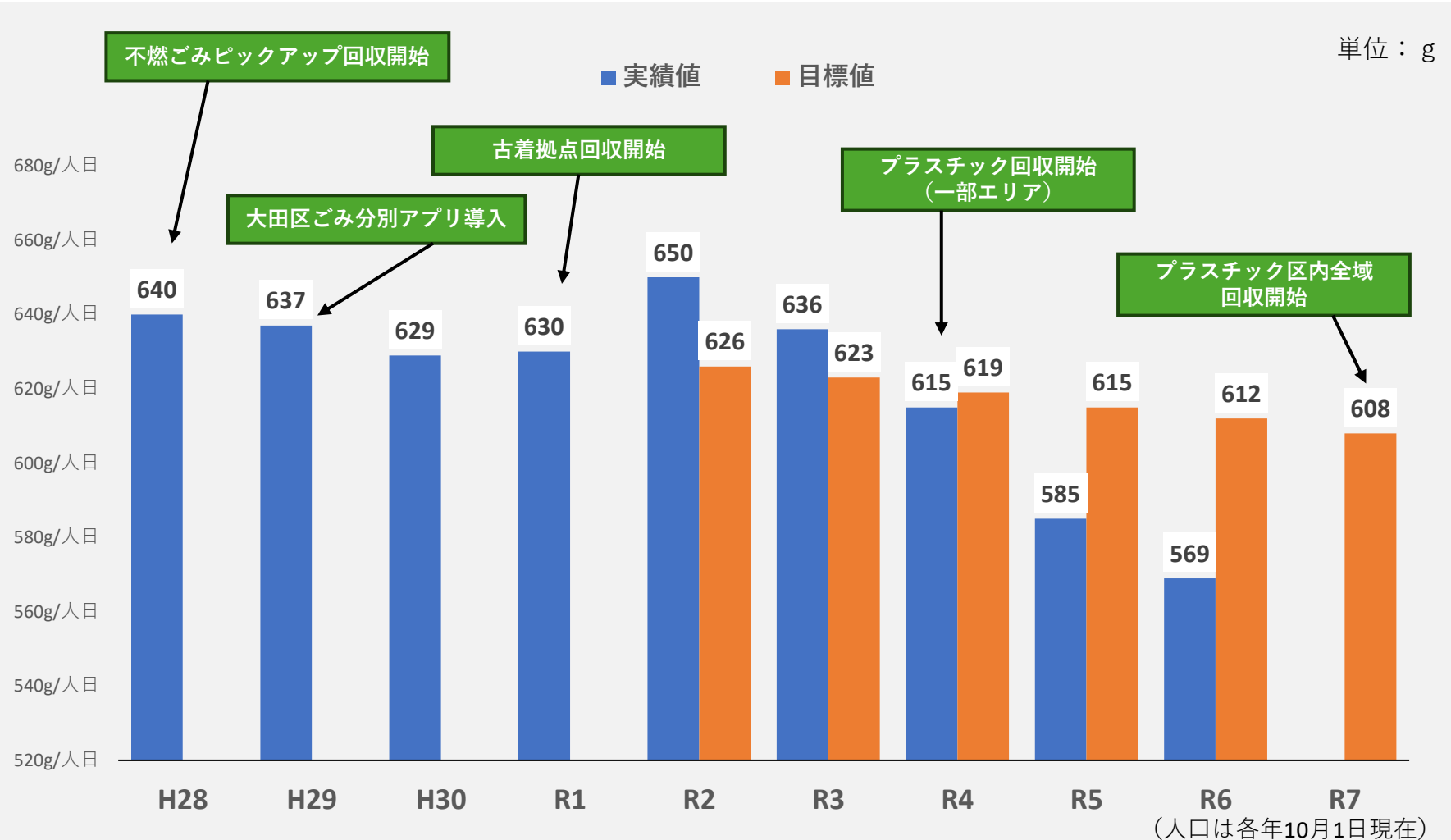
区収集ごみ量を人口で除した指標

区民1人1日当たりの区収集ごみ量＝

$\text{区収集ごみ量} \div \text{人口（各年度10月1日）} \div \text{年間日数}$

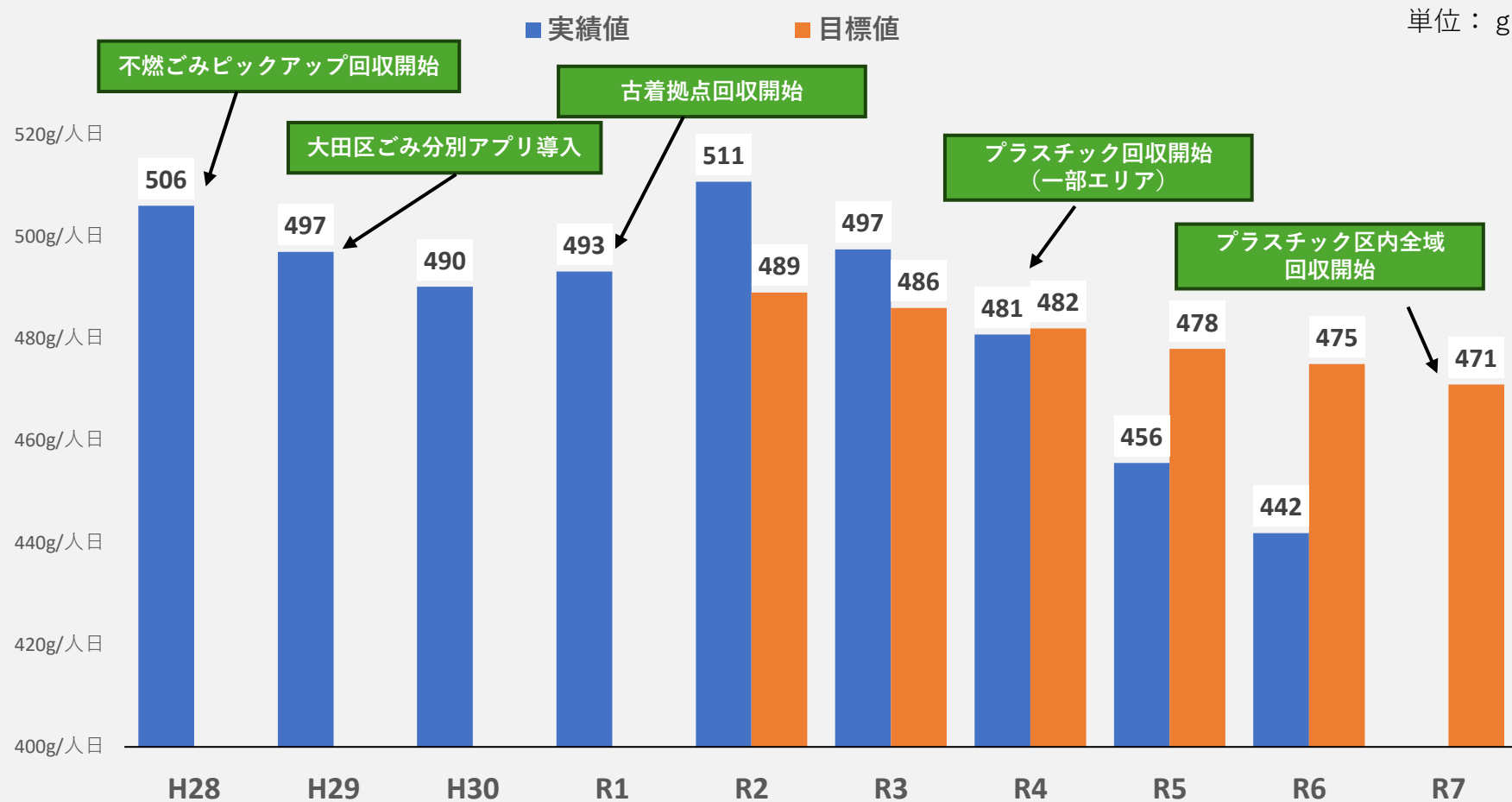
現行計画の目標値と達成状況

計画指標1 区民1人1日当たりのごみと資源の総量



現行計画の目標値と達成状況

計画指標2 区民1人1日当たりの区収集ごみ量



(人口は各年10月1日現在)

現行計画について（目標達成の要因①）

古着回収事業

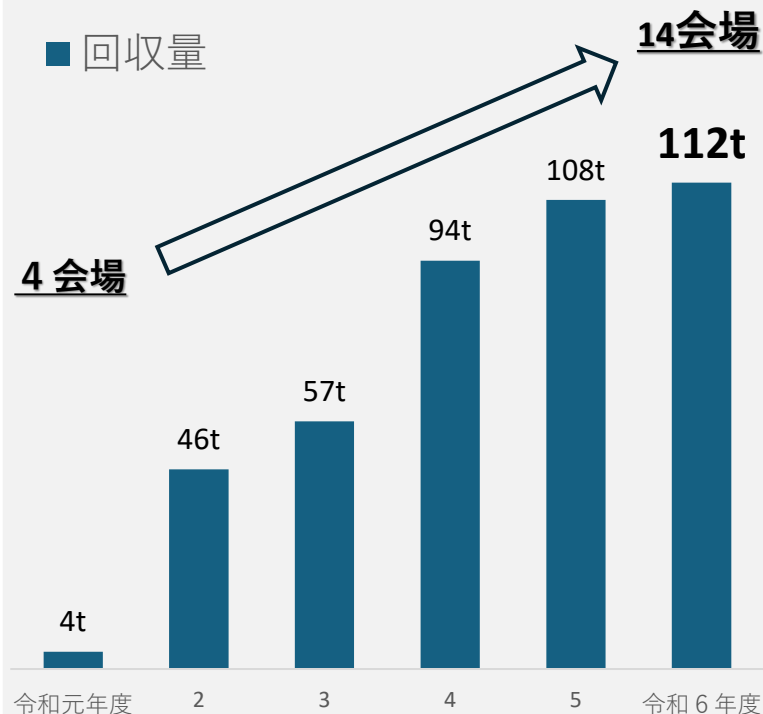


事業内容

拠点回収（令和元年～）

饗区内16会場で月に1～2回実施
饗回収した古着はアジア・アフリカ諸国に輸出され、主に衣類としてリユース

回収実績



ボックス回収（令和6年6月～）

饗区内29箇所に回収用ボックスを設置
(令和7年8月5日現在)
饗回収した古着の一部は区内循環

令和6年度回収量

13 t



【区内循環】

饗区内商店街と連携した各イベント
（大蒲田祭等）においてリユース
饗こども食堂等への寄付
饗服飾系教育機関への素材提供
饗アップサイクル製品を作成し、区主催のイベントにて来場者へ配布



資源プラスチック回収事業（令和4年11月～）



事業内容

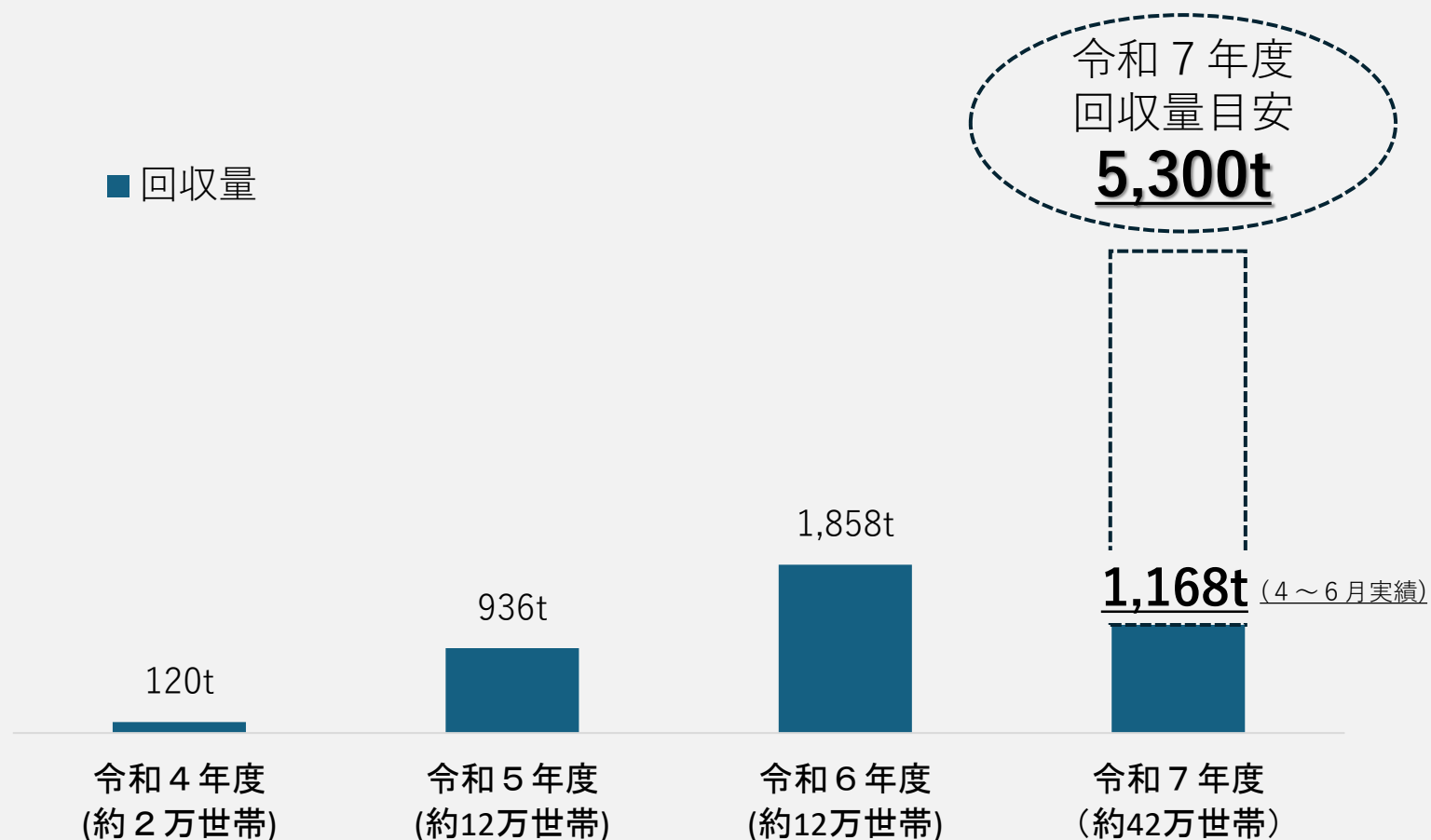
響 令和7年4月から区内全域実施

響 リサイクル手法：ケミカルリサイクル（一部、マテリアルリサイクル）

- ・回収したプラスチックを高温のガスで化学的に分解。

「水素」、「二酸化炭素」、「アンモニア」を生成し、様々な製品に生まれ変わる。

回収実績



運行管理システムの導入（令和5年12月～）

〆プラスチック回収車両全てにタブレット端末を搭載

- ・ GPS機能によりリアルタイムで作業進捗が確認可能 （参考：動画）
- ・ 集積所や交通情報の共有により作業を安定化
- ・ 運行実績に基づく検証により、必要な車両台数を精査



〆東京都の「将来性ある先進的事業」にも選定

- ・ 事業名 「ICTを活用した運行管理システム導入によるプラスチック回収のDX化」
- ・ 広域的環境課題の解決に資する区市町村等の取組を支援する「区市町村との連携による環境政策加速化事業」として、都から補助金が交付されている。

〆令和7年度に資源回収の一部車両にも導入



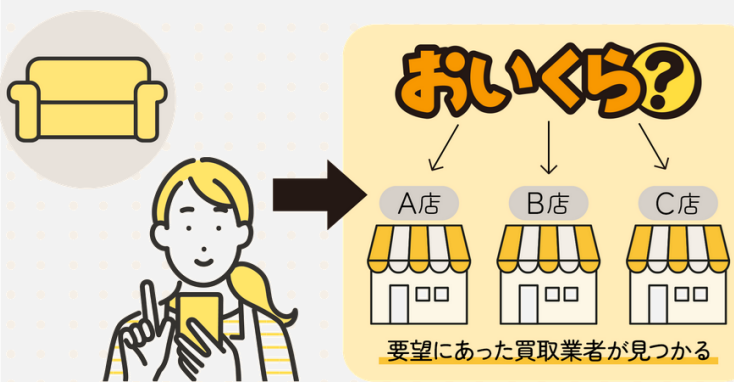
民間事業者を活用したリユース推進事業

おいくら?

（令和6年3月～）

響区民と事業者間での取引

響リサイクルショップに一括して査定依頼。査定価格を比較して売却・引き渡しできる。



事業内容

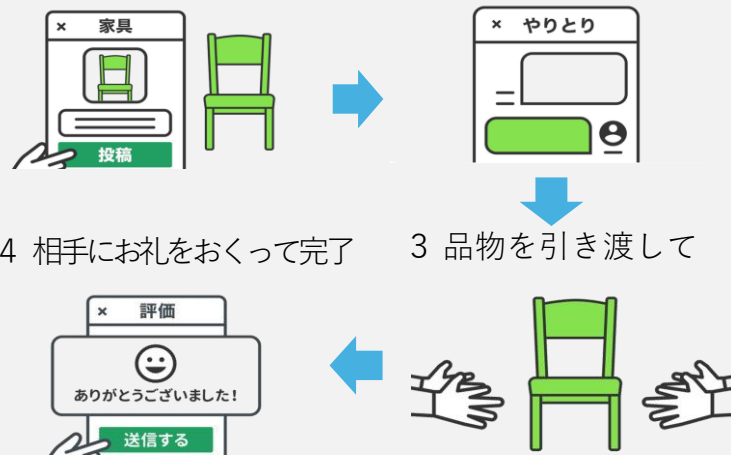
地域の情報サイト
ジモティー

（令和6年10月～）

響個人間での取引

響買取店では値段が付かないものや運搬に困るものも取引が可能。

1 品物を撮影して投稿 2 問い合わせが来たら日程調整



4 相手にお礼をおくって完了 3 品物を引き渡して

令和6年度
実績

依頼品目数

12,236件

投稿品目数

62,047件

廃食用油のリサイクル



区施設での回収

（平成12年4月～）

饗毎週水曜日11時から15時までの間に区施設に設置されている回収ボックスに容器を入れて回収
饗回収した油は、インクの原料にリサイクルされる。

区施設一覧（令和7年8月時点）

各特別出張所
（入新井・蒲田西除く）

スマイル大森

大田区社会福祉センター

店舗での回収

（令和6年11月～）

饗連携先であるスーパーなどのお店に設置したボックスで回収。
饗回収した油は、SAF（Sustainable Aviation Fuel「持続可能な航空燃料」の略）の原料となる。

店舗一覧（令和7年8月時点）

グルメシティ（糀谷店）

食品館あおば（本羽田店）

東急ストア（蒲田プラザ、久が原、大森、上池上店）

京急ストア（蒲田店）

ピーコックストア（石川台店）



専用ボトル
※繰り返し使用 回収ボックス

事業内容

令和6年度
実績

回収量

10.2 t

回収量

639L



食品ロスの削減

フードドライブ(平成29年度～)

饗家庭でまだ食べられるのに捨てられてしまう未利用食品を区に持ち寄ってもらい、**区内のひとり親家庭のフードバンクや子ども食堂などへ寄付**する。

饗お持ちいただきたい食品

- ・ 穀類（米、小麦粉など）
- ・ 菓子類（せんべい、チョコなど）
- ・ 調味料（食用油、醤油、味噌など）
- ・ 缶詰
- ・ 乾物（乾麺、のり、豆、海藻など）
- ・ インスタント・レトルト食品
- ・ 飲料（コーヒー、ジュースなど）
- ・ 乳児用食品

饗令和 7 年度実施予定

第 1 回	令和 7 年 6 月 9 日～13日(終了)
第 2 回	令和 7 年 9 月 8 日～12日
第 3 回	令和 8 年 1 月19日～23日
実施 場所	大田区役所8階ごみ減量推進課 特別出張所 (入新井・池上・嶺町・羽田・矢口)

※上記期間・場所以外にも、
おおた地域ボランティアセンターで受付
(西蒲田7-49-2 大田区社会福祉センター5階)

饗令和 6 年度回収量 **885kg**





食品ロスの削減

大田区食べきり応援団(令和元年度～)

饗区内で食品ロス削減に取り組む飲食店、宿泊施設、食料品取扱事業者等を「大田区食べきり応援団」として登録し、その利用を促進することで、事業者及び消費者への食品ロス削減にかかる意識啓発につなげる。

饗登録事業者数 **59団体**



出前授業

饗将来を担う小・中学生を対象に、食品ロスについて「知る」「考える」きっかけとなる出前事業を実施。

饗令和6年度参加人数 **518人**

饗令和6年度協力企業・団体
(株)東急ストア、(株)アルフォ
カルビー(株)、ワタミ(株)
(社福)大田区社会福祉協議会

広報・普及啓発

資源プラスチックの回収に関する広報

YouTube 大田区公式チャンネル



再生回数5,300回(令和7年7月23日時点)



再生回数7,670回(令和7年7月23日時点)

響（広報紙）

「プラスチックの分別回収が区内全域で始まります」

- ・プラスチックの集積所への出し方
- ・プラスチックの分け方、出し方
- ・多言語対応



対応言語15種

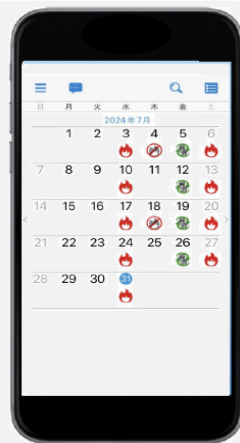
※QRコードをスマートフォンで読み込むと設定に応じた言語で翻訳されて、表示される。

広報・普及啓発

ごみ分別アプリ

響 ごみの収集日や出し方、ごみ分別辞典、よくある質問などが確認できるアプリ

響 累計ダウンロード数は、**84,767件**
(令和7年7月1日時点)

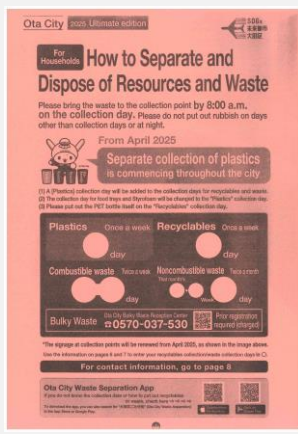


その他広報物の発行

響 「資源とごみの分け方・出し方」

響 「みんなでごみを減らそうよ」

※外国語版
(6言語)
を作成



※環境学習副読本として、
区内小学校4年生に配布



事業者に対する取り組み

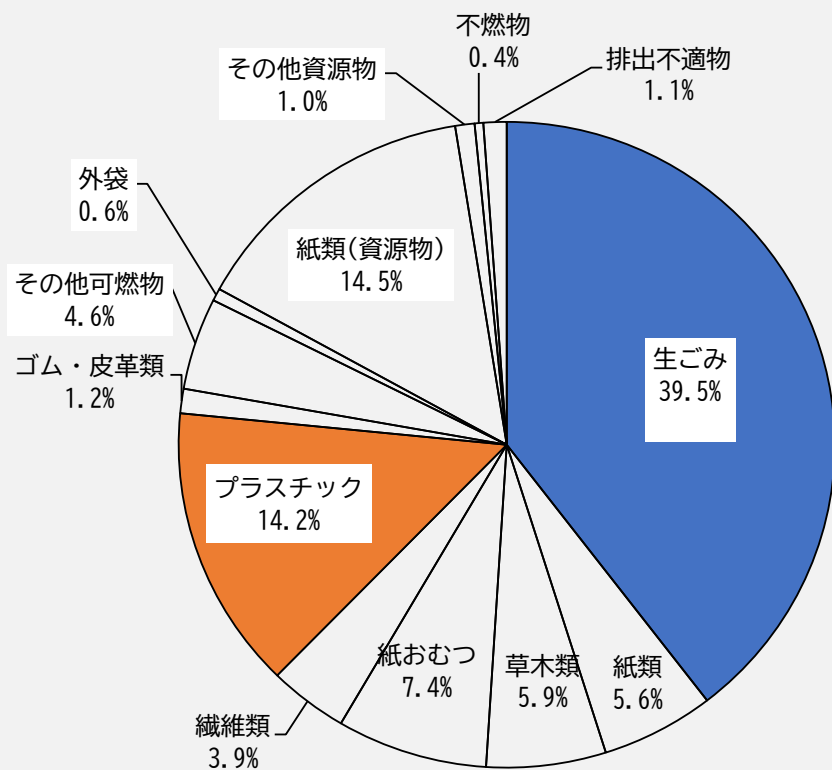
事業者は事業活動に伴って発生する廃棄物について、自らの責任において処理するか、民間処理業者に委託することが原則。少量で家庭ごみの収集に支障のない範囲において、事業系有料ごみ処理券を貼付して集積所に排出することができる。

	排出指導	普及・啓発
事業内容	資源物の減量及び適正な処理を確保するため、事業用途に供する延べ床面積3,000㎡以上の大規模建築物及び延べ床面積1,000㎡以上3,000㎡未満の事業用建築物に対して立入検査を実施し、指導・助言を行っている。	資源事業用大規模建築物の新任廃棄物管理責任者を対象に、ごみの減量やリサイクルの推進の基本について講習を実施。
令和6年度実績	大規模建築物 175件 事業用建築物 153件	受講事業者数 142所

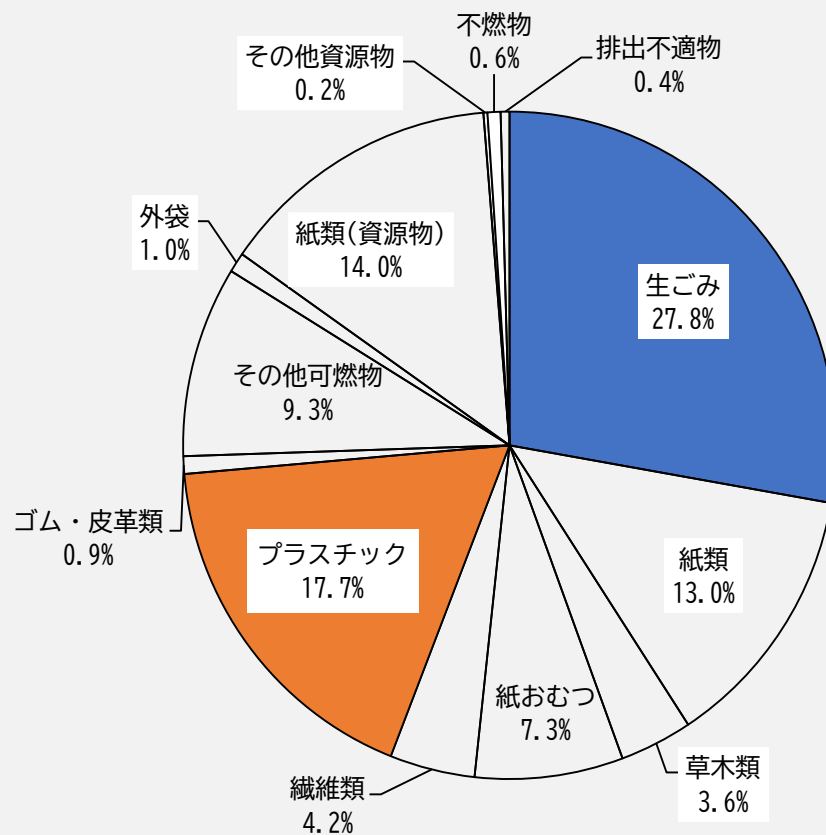
社会的動向による減量要因 1

ライフスタイルの変化

（平成27年度 家庭系可燃ごみの組成）

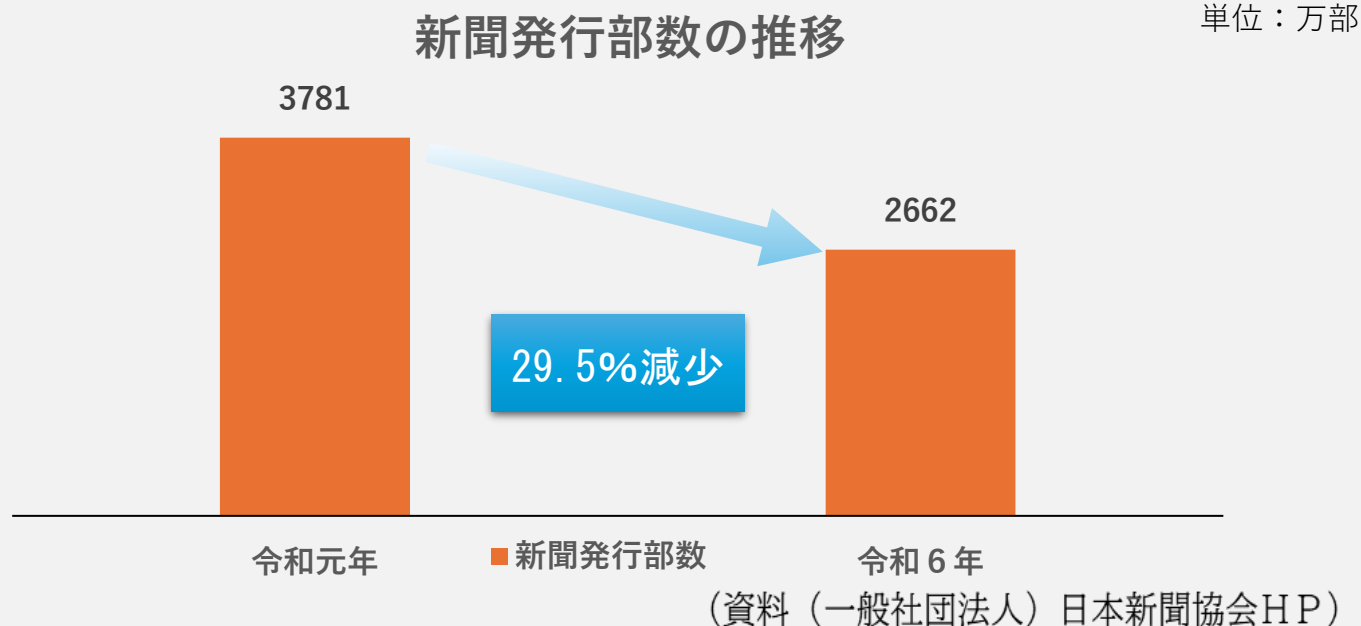


（令和5年度 家庭系可燃ごみの組成）



社会的動向による減量要因 2

重量のある資源の減少



容器包装の軽量化

饗飲料容器は、びん類からペットボトルにシフトしている。

饗缶類は、スチール缶からアルミ缶にシフトしている。

本計画の目標値

大田区基本計画

饗区民1人1日当たりのごみと資源の総量を次のように設定しています。



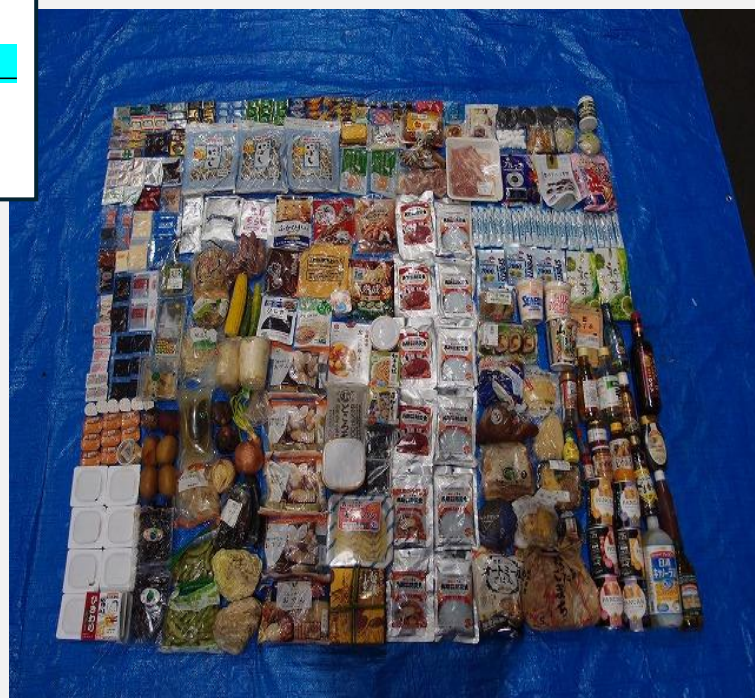
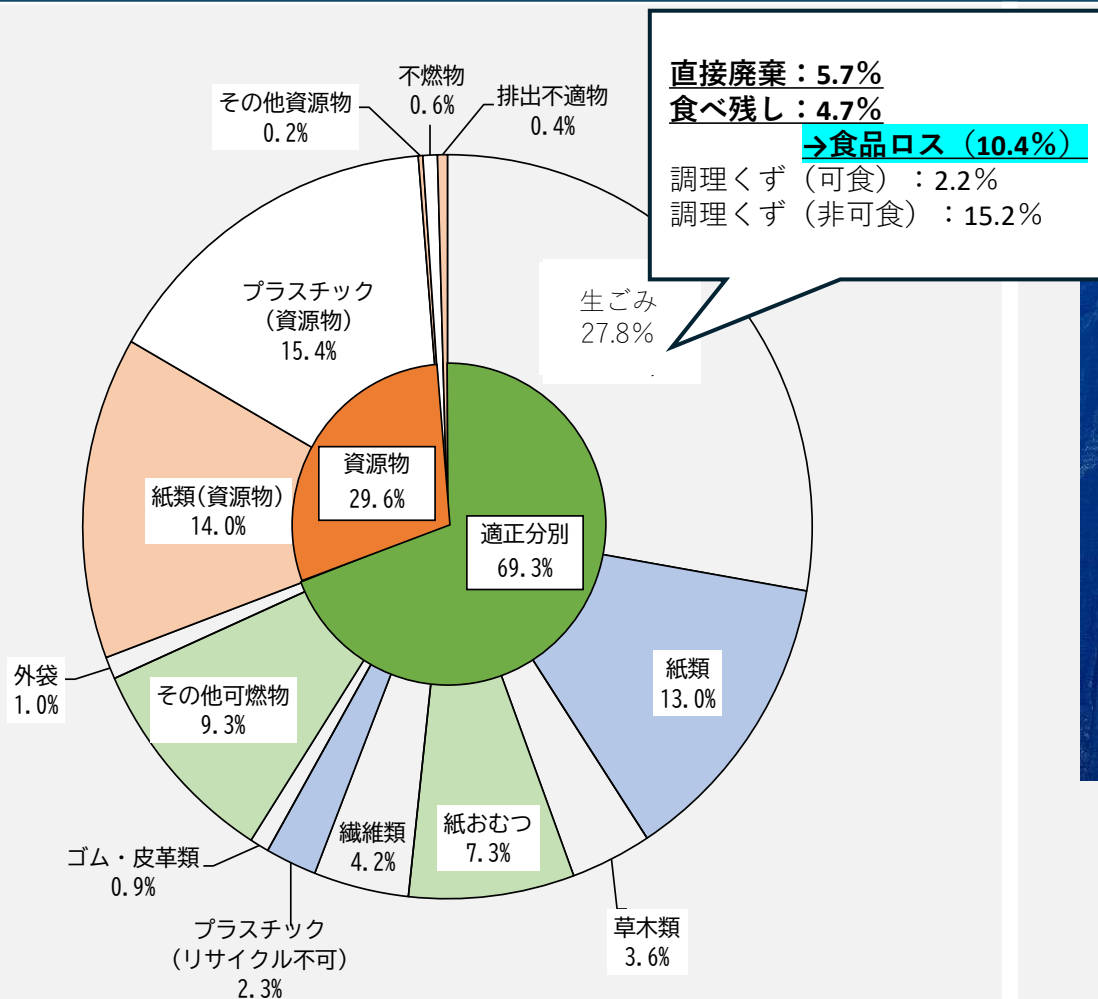
第2次大田区環境基本計画

饗第2次大田区環境基本計画では、5つの目標値を設定しています。

	実績値 令和5年度	目標値 令和12年度
区民1人1日当たりのごみ量と資源の総量	585g/人日	542g/人日 (43g/人日減)
ごみ減量・リサイクルに取り組む区民の割合	73.9%	80.0% (6.1ポイント増)
家庭系食品ロス量の削減率	—	令和3年度比 ▲31%
環境に配慮した経営をする企業の割合	39%	54% (15ポイント増)
事業系食品ロス量の削減率	—	令和3年度比 ▲31%

目標達成に向けた課題

ごみ組成分析調査（令和5年度実施）



組成分析調査で排出された食品ロス

今後のスケジュール

年月	内容
令和7年8月	事業所ごみアンケート調査の実施
令和7年11月	一般廃棄物処理基本計画（素案）の策定
令和7年12月	パブリックコメントの実施
令和8年1月	パブリックコメントを反映した 一般廃棄物処理基本計画（案）の策定
令和8年3月	一般廃棄物処理基本計画策定

本日の論点

①これまでの取り組みの成果と課題

②今後のごみ減量施策